

## 山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

### 1. 公募人員

助教（特命） 1 名

### 2. 所属

山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 応用化学分野（工学部応用化学科）

### 3. 担当研究分野概要

資源・環境問題が深刻化する中、社会のGX(グリーントランスフォーメーション)に向けて、低分子から高分子を含む有機分子を「どのように合成するか」、そして、有機分子に「どのような高機能をデザインし付与するか」は喫緊の課題である。当有機化学研究室では、合成が難しい分子の構築法や分子の持つスーパー機能発現の研究を通して、学術的な新しい学理の創成に加え、環境や資源問題などの様々な社会問題の解決に努めている。これらの研究にシステムチックに取り組むには、特定の専門分野に捉われることなく、異なる分野の研究者の英知を集結した学際的研究分野を展開する必要がある。そこで、当分野では、高分子から低分子を含む幅広い有機系応用化学の研究分野（例えば、高分子合成化学、重合化学、有機合成化学、素反応開発、触媒反応開発、有機金属錯体化学、天然物合成化学、典型元素化学、構造有機化学、有機物理化学、有機材料化学など）に素養があり、研究室所属教員と協力して分野にとらわれない学際的研究領域の開拓に意欲的に挑戦でき、かつ、自身の独創的未踏研究分野の開拓ができる方を1名募集する。

具体的には、R5年度に研究代表として採択されたALCA NEXT「資源循環領域：採択課題名(電子応答性コアブロック搭載材料の資源循環)」に関する研究に従事していただく。本プロジェクトはスモールフェーズ3.5年と加速フェーズ3年に分かれて実施する。加速フェーズには、中間審査を通ったチームのみが従事することができるため、それを一緒に協力して乗り越えてくれる研究者を募集する。

学内にはSciFinderやオンライン図書が完備されており主要なジャーナルは閲覧可能である。さらに、本学は文科省コアファシリティ事業に採択されており、3台のNMRや精密質量測定装置、TEMなど多くの大型共通機器が配備されており、研究遂行に何ら問題はなく、幅広く力強い研究を展開可能である。

### 4. 担当教育分野

大学院創成科学研究科 工学系学域 応用化学分野

### 5. 任期

3年、加速フェーズに採択された場合にはさらに3年

また、加速フェーズに採択された際、配分額によってはそれまでの業績を考慮し、准教授（特命）への配置換を行う場合がある。

## 6. 応募資格

以下に掲げる条件をすべて満たす者

(1) 令和6年4月1日の年齢が40歳未満であること

※国の施策である「第6期科学技術・イノベーション基本計画」において掲げられている若手研究者比率の目標値達成のため、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律施行規則第1条の3第1項第3号ニに該当するものとして実施します。

(2) 博士の学位を有すこと（指導教員の意見書があれば着任時までに取得見込みの場合も可）

(3) 高分子から低分子を含む幅広い有機系応用化学の研究分野に素養があり、研究室所属教員と協力して分野にとらわれない学際的研究領域の開拓に意欲的に挑戦でき、かつ、自身の独創的未踏研究分野の開拓ができる方

## 7. 研究分野

- ・ ナノテク・材料—有機合成化学
- ・ ナノテク・材料—高分子化学
- ・ ナノテク・材料—高分子材料
- ・ ナノテク・材料—有機機能材料

## 8. 待遇

給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。  
年俸 400~500 万円 ※月額 32~34 万円程度(各種手当含む)

## 9. 着任予定日

令和6年4月1日(応相談)

## 10. 応募締切

令和6年1月5日(金) 17:00【日本標準時間】 必着  
適任者が決まり次第、公募終了

## 11. 提出書類

- (1) 履歴書（写真を貼付し、連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）を明記のこと）
- (2) 研究業績（原著論文、総説、著書、国際会議論文、特許、外部研究費取得状況、その他に分けて記載すること）
- (3) 論文別刷 5 編以内
- (4) 現在までの研究概要（A4・2 枚程度、図表の使用可）
- (5) 今後の研究と教育に関する抱負（A4・2 枚以内、図表の使用可）
- (6) その他参考となる資料（学会活動、教育経験、受賞など）
- (7) 応募者について照会可能な方 1 名の氏名と連絡先  
（所属・職名・勤務先住所・電話/FAX 番号・電子メールアドレスなど）

## 12. 選考方法

提出書類による書類選考及び面接、セミナー

※書類審査を通過した方には、対面でのセミナー及び面接による最終選考を行います。なお、対面でのセミナー及び面接を実施した場合の旅費等は本人負担となります。

## 13. 応募書類の提出先及び照会先

JREC-IN の電子応募、又は郵送のどちらかで提出してください。

・電子応募の場合は上記（１）から（５）までを単一の PDF もしくは ZIP ファイルにまとめて、JREC-IN の電子応募機能を使って提出してください。

・郵送の場合は以下の宛先にお送りください。

### 【応募書類提出先】

山口大学大学院創成科学研究科(工学系学域)応用化学分野 教授 西形 孝司

TEL (0836) 85-9261

E-mail nisikata@yamaguchi-u.ac.jp

提出書類を全て PDF 形式の添付ファイルとし、件名に「応用化学科助教（特命）応募」と記載し、E-mail で上記アドレスに送付してください。E-mail で書類提出後、3 日以内（土日祝日を除く）に受領確認メールが届かない場合には、お問い合わせください。

### 【担当研究分野等に関する問い合わせ先】

山口大学大学院創成科学研究科(工学系学域)応用化学分野 教授 西形 孝司

E-mail: nisikata@yamaguchi-u.ac.jp

## 14. その他

(1) 応募に係る個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。

(2) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第 8 条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。

(3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

## 山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

### 研究についての支援

#### 研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

#### 研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

#### 女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

#### 留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

### 子育てや介護についての支援

#### 学童保育 ヤマミ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

#### たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名  
病後児保育3名

#### 企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

#### 病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

#### 学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

#### 介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】  
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】  
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

#### カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ